

地域と一体となって子供たちを育む、地域とともにある学校づくり

志木市立志木第二中学校

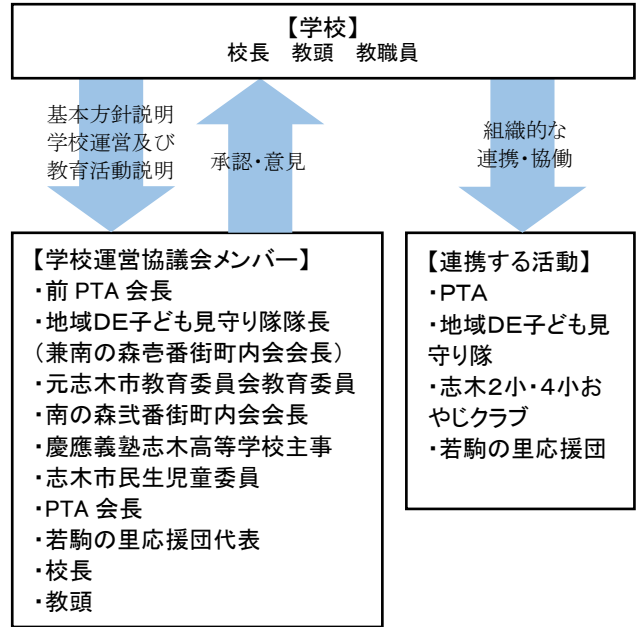
【活動の目的】

「地域と一体になって子供たちを育む、地域とともにある学校づくり」のため、学校・家庭・地域が一体となって、それぞれの責任と役割を果たせるよう、コミュニティ・スクールを推進することを目的としています。

<活動の経過>

- ・令和2年 6月29日 第1回学校運営協議会
- ・令和2年 9月 9日 第2回学校運営協議会
- ・令和2年11月11日 第3回学校運営協議会
- ・令和3年 1月20日 第4回学校運営協議会(中止)
- ・令和3年 3月 3日 第5回学校運営協議会

【組織の概要】



【活動の特徴・工夫】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言の発令による休校措置及び教育活動における感染症予防対策等により活動が制限されました。このような状況下であるからこそ、「地域と一体になって子供たちと育む、地域とともにある学校づくり」の推進が重要です。学校運営協議会を中心とした家庭や地域の様々な組織、団体と組織的・継続的な連携・協働体制づくりとともに、コロナ禍における教育活動の在り方等についての協議が大きな題材となりました。

○休校措置終了後、感染症予防対策を行ったうえでの授業の様子や生徒の様子を、授業参観をとおして見ていただきました。

○コロナ禍における学校行事等の教育活動について協議し、多角的・多面的なご意見をいただきました。

○安全・安心の視点から施設・設備を点検していただきました。改善に向けて対応することができました。

○保護者代表に様々な職業を紹介していただく「ふれあい講演会」は中止になりましたが、今後もコーディネートをお願いしました。



【成果と今後の展望】

学校運営協議会をとおして、学校の情報を発信するとともに、地域の情報を得る機会となっています。コロナ禍で、学校運営協議会としても生徒に直接還元できる実践的な活動が困難な状況でしたが、コロナ禍における教育活動の在り方や今後の学校運営に係る協議ができ、これからの学校経営について検討することができました。